



2026年8月3日
木の実保育園

8月1日に木の実保育園は創立75周年を迎えました。設立した1951年（昭和26年）は、日米安全保障条約締結、NHK 紅白歌合戦第1回放送、日本航空設立をはじめ、洗濯粉せっけん、果汁飲料、総合感冒薬が初めて発売されるなど、現代の私たちの暮らしにつながる様々なものが生まれた年でもありました。また春から初夏に子どもたちがよく歌う「めだかの学校」も発表された年だそうです。

木の実保育園も、その年に産声を上げ、地域の皆さまや保護者の皆さま、そして卒園児や関係者の方々に支えられ、75年という歩みを重ねてきました。長い歴史の中で受け継がれてきた思いを大切にしながら、今日まで保育を続けられたことに、心より感謝申し上げます。これからも、子どもたち一人ひとりが安心して過ごし、笑顔あふれる毎日を送ることができる保育園であり続けられるよう、職員一同力を合わせて歩んでまいります。今後とも、温かいご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

5歳児：お泊まり保育の様子

7月10、11日に木の実保育園にてお泊まり保育を行いました。
ピザを作ったり、宝探しをしたり、ドキドキワクワクの2日間でした。



【8月の行事予定】

開園記念日(75周年)
乳児健診(0, 1歳児)
昼表替え(2歳児室)
園庭遊具点検
同窓会(小学1, 2年生)
8月中旬～下旬 避難訓練

【お知らせ】

- ・9月に防災訓練（大地震を想定した園児引き取り訓練）を行います。
- ・9月に運動会があります。つばめ組、りす組、うさぎ組、こうま組の参加となります。
（ひよこ組、ひばり組の参加はありません）
防災訓練、運動会ともに、詳しくは後日ルクミーにてお知らせいたします。



8月 保健だより

夏本番を迎え、厳しい暑さが続いています。子どもたちは夏ならではの遊びを元気いっぱい楽しんでいますが、暑さで疲れがたまりやすい時期でもあります。体調の変化にも気を配りながら、元気に夏を過ごせるよう見守っていきたいと思います。

7月の様子

7月は0、1歳児クラスを中心に手足口病の流行がありました。東京都でも6月後半から警報基準に達し、現在は報告者数が減少傾向にありますが、警報レベルを超えた状態が続いています。

罹患したお子さんは、高熱とともに手足や口の中に細かい発疹がみられるケースが多くありました。

手足口病は、症状が落ち着いた後、しばらくしてから手足の皮膚が剥けたり、爪が剥がれたりすることがあります。回復後に見られることがある症状ですので、様子をみていただけたらと思います。心配な場合は、医療機関にご相談ください。



鼻血が出たら...



小鼻をつまんで下を向く



上を向かない



ティッシュを詰めない



しばらく安静にする



保健からのお知らせ

<今月の乳児健診>

8/ 6(木) ひよこ・ひばり

8/27(木) ひよこ



あつ なつ した ぎ き あせ み かた

暑い夏こそ下着を着て 汗を味方に

あせ からだ ぬつ そと に ねっちゅうしょう
汗は、体の熱を外へ逃がして熱中症を防いでくれる、天然のクーラーみたいなもの。ただ、汗を吸わず水分がこもってしまう服装だと、汗はうまく働くことができません。

そこでおすすめなのが、**下着**。「夏に着たら暑い」と思いがちですが、じつはその逆。汗を吸ってすぐ乾く素材や、さらっとして肌にくっつかない素材の下着は、体を冷やす汗の働きを助けてくれます。

とく こ
**特にこんな子には
 おすすめです**

- ◎ 汗をかきやすい子
- ◎ 肌が敏感な子 など